

# ハマの味で最高のフライト提供

日本航空（JAL）と横浜市は25日、観光情報発信や誘客のための地域企画「ジャパンプロジェクト横浜」を来月1カ月間にわたり共同実施すると発表した。機内誌で横浜観光情報を取り上げるほか、国内線機内ビデオで横浜のPR映像を上映。機内食やラウンジでの横浜産商品の提供なども行い、横浜を大々的にPRする。

JALは昨年5月から地域連携企画を実施してきた。大西賢社長は会見で「企画はこれまで都道府県単位で行ってきたが、横浜市は単独で十分魅力的。海外、特に中国に向けた誘客にも取り組む」と意気込みを語った。

国内線ファーストクラスでは、ホテルニューグランドの宇佐神茂総料理長がプロデュースし横浜産食材を使った機内食（夕食）を提供する。宇佐神総料理長は会見で「温かい煮込み料理をメインに横浜産の豚肉や、ホテル開業当時のメニューなども盛り込んだ」と話した。

羽田空港国際線・国内線のラウンジでは、ありあけ▽崎陽軒▽重慶飯店（龍門商事）▽フランセ▽横浜元町霧笛楼（鈴音）一の市内5社がお菓子など「横浜の味」を無償提供する。

中国からの誘客のため、上海発のJAL便専用の横浜旅行商品も30日に発売。3～6月には、中国や韓国、台湾、香港発の日本到着路線で配布するガイドブック内で横浜を特集する。

## JALと横浜市が共同観光PR



誘客へ意気込みを語るJALの大西社長（中央）、横浜市の林市長（左から2人目）、ホテルニューグランドの宇佐神総料理長（右端）  
―25日、横浜市役所